

～ 参 考 ～

「平成25年度青森県公社等
経営評価シート」点検結果

公益財団法人21あおもり産業総合支援センター

○ マネジメント

(1) 経営理念、中期経営計画

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
平成24年度に掲げた経営者の経営目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成している。○:概ね目標どおり達成している。 △:目標を達成していない。)	◎	◎	◎
実績との比較を踏まえた中期経営計画全般の達成状況について (評価→◎:計画どおりである。○:概ね計画どおりである。△:計画と乖離が生じている。)	◎	◎	

(2) 提言への対応状況

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
青森県公社等点検評価委員会の提言への対応状況について (評価→◎:十分に対応している。○:十分に対応している項目が多い。△:十分に対応していない項目が多い。)	○	○	○

(3) 事業内容等

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
経営環境の変化に対応するため、事業内容の見直しを行っており、実施している事業の内容(事業実施手法を含む。)や規模は、費用対効果、社会的要請からみて適切である。 (評価→◎:適切である。○:概ね適切である△:改善する余地が多い。)	◎	◎	○
平成24年度の主な事業に係る目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成した。○:概ね目標どおり達成した。△:目標を達成していない。(達成していない項目が多い。))	◎	○	

(4) 組織体制等

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
効率的な業務運営、内部統制の充実を図る観点から、人員体制の見直しを行っているほか、県派遣職員の順次引揚げを行うなど、自立的な業務運営が図られている。 (評価→◎:十分に対応している。○:概ね対応している。△:改善する余地が多い。)	◎	◎	◎
経営状況及び業務量から勘案して、常勤役職員の数は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:過不足を生じている。)	◎	◎	
経営状況及び業務内容を勘案して、常勤役員及びプロパー職員の給与は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:改善の余地が多い。)	◎	◎	

○ 財務

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
収入の確保、経費の削減が図られており、損益の状況は良好である。 (評価→◎:良好である。○:概ね良好である。△:改善を要する。)	△	△	△
資産の償却、各種引当などを適切に行っており、正味財産(資本)は増加傾向である。 (評価→◎:2期連続して増加している。○前期より増加している。△:前期より減少している。)	△	△	
滞留債権(3ヶ月以上延滞している債権)は発生・増加していない。 (評価→◎:発生していない。または、前期より減少している。△前期より増加している。)	◎	◎	
自立経営に向けて、運営費や人件費に対する補助金、無利子借入金及び施設使用料の免除といった経営支援的な補助金等を受け入れていない。または、経営支援的な補助金等の額は、前期に比べ低下している。 (評価→◎:受け入れていない。または、低下している。△:増加している。)	◎	◎	

公益社団法人あおもり農林業支援センター

○ マネジメント

(1) 経営理念、中期経営計画

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
平成24年度に掲げた経営者の経営目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成している。○:概ね目標どおり達成している。 △:目標を達成していない。)	○	○	○
実績との比較を踏まえた中期経営計画全般の達成状況について (評価→◎:計画どおりである。○:概ね計画どおりである。△:計画と乖離が生じている。)	○	○	

(2) 提言への対応状況

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
青森県公社等点検評価委員会の提言への対応状況について (評価→◎:十分に対応している。○:十分に対応している項目が多い。△:十分に対応していない項目が多い。)	○	○	○

(3) 事業内容等

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
経営環境の変化に対応するため、事業内容の見直しを行っており、実施している事業の内容(事業実施手法を含む。)や規模は、費用対効果、社会的要請からみて適切である。 (評価→◎:適切である。○:概ね適切である△:改善する余地が多い。)	○	○	○
平成24年度の主な事業に係る目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成した。○:概ね目標どおり達成した。△:目標を達成していない。(達成していない項目が多い。))	○	○	

(4) 組織体制等

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
効率的な業務運営、内部統制の充実を図る観点から、人員体制の見直しを行っているほか、県派遣職員の順次引揚げを行うなど、自立的な業務運営が図られている。 (評価→◎:十分に対応している。○:概ね対応している。△:改善する余地が多い。)	○	○	○
経営状況及び業務量から勘案して、常勤役職員の数は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:過不足を生じている。)	○	○	
経営状況及び業務内容を勘案して、常勤役員及びプロパー職員の給与は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:改善の余地が多い。)	○	○	

○ 財務

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
収入の確保、経費の削減が図られており、損益の状況は良好である。 (評価→◎:良好である。○:概ね良好である。△:改善を要する。)	○	○	○
資産の償却、各種引当などを適切に行っており、正味財産(資本)は増加傾向である。 (評価→◎:2期連続して増加している。○:前期より増加している。△:前期より減少している。)	—	—	
滞留債権(3ヶ月以上延滞している債権)は発生・増加していない。 (評価→◎:発生していない。または、前期より減少している。△:前期より増加している。)	◎	◎	
自立経営に向けて、運営費や人件費に対する補助金、無利子借入金及び施設使用料の免除といった経営支援的な補助金等を受け入れていない。または、経営支援的な補助金等の額は、前期に比べ低下している。 (評価→◎:受け入れていない。または、低下している。△:増加している。)	△	△	

青森県土地開発公社

○ マネジメント

(1) 経営理念、中期経営計画

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
平成24年度に掲げた経営者の経営目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成している。○:概ね目標どおり達成している。 △:目標を達成していない。)	○	○	○
実績との比較を踏まえた中期経営計画全般の達成状況について (評価→◎:計画どおりである。○:概ね計画どおりである。△:計画と乖離が生じている。)	○	○	

(2) 提言への対応状況

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
青森県公社等点検評価委員会の提言への対応状況について (評価→◎:十分に対応している。○:十分に対応している項目が多い。△:十分に対応していない項目が多い。)	○	○	○

(3) 事業内容等

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
経営環境の変化に対応するため、事業内容の見直しを行っており、実施している事業の内容(事業実施手法を含む。)や規模は、費用対効果、社会的要請からみて適切である。 (評価→◎:適切である。○:概ね適切である△:改善する余地が多い。)	◎	○	○
平成24年度の主な事業に係る目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成した。○:概ね目標どおり達成した。△:目標を達成していない。(達成していない項目が多い。))	○	○	

(4) 組織体制等

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
効率的な業務運営、内部統制の充実を図る観点から、人員体制の見直しを行っているほか、県派遣職員の順次引揚げを行うなど、自立的な業務運営が図られている。 (評価→◎:十分に対応している。○:概ね対応している。△:改善する余地が多い。)	◎	◎	◎
経営状況及び業務量から勘案して、常勤役職員の数は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:過不足を生じている。)	◎	◎	
経営状況及び業務内容を勘案して、常勤役員及びプロパー職員の給与は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:改善の余地が多い。)	◎	○	

○ 財務

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
収入の確保、経費の削減が図られており、損益の状況は良好である。 (評価→◎:良好である。○:概ね良好である。△:改善を要する。)	△	△	△
資産の償却、各種引当などを適切に行っており、正味財産(資本)は増加傾向である。 (評価→◎:2期連続して増加している。○:前期より増加している。△:前期より減少している。)	△	△	
滞留債権(3ヶ月以上延滞している債権)は発生・増加していない。 (評価→◎:発生していない。または、前期より減少している。△:前期より増加している。)	△	△	
自立経営に向けて、運営費や人件費に対する補助金、無利子借入金及び施設使用料の免除といった経営支援的な補助金等を受け入れていない。または、経営支援的な補助金等の額は、前期に比べ低下している。 (評価→◎:受け入れていない。または、低下している。△:増加している。)	◎	◎	

公益財団法人青森県建設技術センター

○ マネジメント

(1) 経営理念、中期経営計画

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
平成24年度に掲げた経営者の経営目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成している。○:概ね目標どおり達成している。 △:目標を達成していない。)	○	○	○
実績との比較を踏まえた中期経営計画全般の達成状況について (評価→◎:計画どおりである。○:概ね計画どおりである。△:計画と乖離が生じている。)	◎	◎	

(2) 提言への対応状況

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
青森県公社等点検評価委員会の提言への対応状況について (評価→◎:十分に対応している。○:十分に対応している項目が多い。△:十分に対応していない項目が多い。)	◎	◎	◎

(3) 事業内容等

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
経営環境の変化に対応するため、事業内容の見直しを行っており、実施している事業の内容(事業実施手法を含む。)や規模は、費用対効果、社会的要請からみて適切である。 (評価→◎:適切である。○:概ね適切である△:改善する余地が多い。)	◎	◎	◎
平成24年度の主な事業に係る目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成した。○:概ね目標どおり達成した。△:目標を達成していない。(達成していない項目が多い。))	◎	◎	

(4) 組織体制等

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
効率的な業務運営、内部統制の充実を図る観点から、人員体制の見直しを行っているほか、県派遣職員の順次引揚げを行うなど、自立的な業務運営が図られている。 (評価→◎:十分に対応している。○:概ね対応している。△:改善する余地が多い。)	◎	◎	○
経営状況及び業務量から勘案して、常勤役職員の数は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:過不足を生じている。)	○	○	
経営状況及び業務内容を勘案して、常勤役員及びプロパー職員の給与は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:改善の余地が多い。)	○	○	

○ 財務

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
収入の確保、経費の削減が図られており、損益の状況は良好である。 (評価→◎:良好である。○:概ね良好である。△:改善を要する。)	○	○	◎
資産の償却、各種引当などを適切に行っており、正味財産(資本)は増加傾向である。 (評価→◎:2期連続して増加している。○:前期より増加している。△:前期より減少している。)	◎	◎	
滞留債権(3ヶ月以上延滞している債権)は発生・増加していない。 (評価→◎:発生していない。または、前期より減少している。△:前期より増加している。)	◎	◎	
自立経営に向けて、運営費や人件費に対する補助金、無利子借入金及び施設使用料の免除といった経営支援的な補助金等を受け入れていない。または、経営支援的な補助金等の額は、前期に比べ低下している。 (評価→◎:受け入れていない。または、低下している。△:増加している。)	◎	◎	

青森県道路公社

○ マネジメント

(1) 経営理念、中期経営計画

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
平成24年度に掲げた経営者の経営目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成している。○:概ね目標どおり達成している。 △:目標を達成していない。)	◎	◎	◎
実績との比較を踏まえた中期経営計画全般の達成状況について (評価→◎:計画どおりである。○:概ね計画どおりである。△:計画と乖離が生じている。)	◎	◎	

(2) 提言への対応状況

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
青森県公社等点検評価委員会の提言への対応状況について (評価→◎:十分に対応している。○:十分に対応している項目が多い。△:十分に対応していない項目が多い。)	◎	◎	◎

(3) 事業内容等

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
経営環境の変化に対応するため、事業内容の見直しを行っており、実施している事業の内容(事業実施手法を含む。)や規模は、費用対効果、社会的要請からみて適切である。 (評価→◎:適切である。○:概ね適切である△:改善する余地が多い。)	◎	◎	◎
平成24年度の主な事業に係る目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成した。○:概ね目標どおり達成した。△:目標を達成していない。(達成していない項目が多い。))	◎	◎	

(4) 組織体制等

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
効率的な業務運営、内部統制の充実を図る観点から、人員体制の見直しを行っているほか、県派遣職員の順次引揚げを行うなど、自立的な業務運営が図られている。 (評価→◎:十分に対応している。○:概ね対応している。△:改善する余地が多い。)	◎	◎	◎
経営状況及び業務量から勘案して、常勤役職員の数は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:過不足を生じている。)	◎	◎	
経営状況及び業務内容を勘案して、常勤役員及びプロパー職員の給与は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:改善の余地が多い。)	◎	◎	

○ 財務

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
収入の確保、経費の削減が図られており、損益の状況は良好である。 (評価→◎:良好である。○:概ね良好である。△:改善を要する。)	◎	◎	○
資産の償却、各種引当などを適切に行っており、正味財産(資本)は増加傾向である。 (評価→◎:2期連続して増加している。○:前期より増加している。△:前期より減少している。)	◎	◎	
滞留債権(3ヶ月以上延滞している債権)は発生・増加していない。 (評価→◎:発生していない。または、前期より減少している。△:前期より増加している。)	◎	◎	
自立経営に向けて、運営費や人件費に対する補助金、無利子借入金及び施設使用料の免除といった経営支援的な補助金等を受け入れていない。または、経営支援的な補助金等の額は、前期に比べ低下している。 (評価→◎:受け入れていない。または、低下している。△:増加している。)	◎	◎	

公益財団法人青森県フェリー埠頭公社

○ マネジメント

(1) 経営理念、中期経営計画

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
平成24年度に掲げた経営者の経営目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成している。○:概ね目標どおり達成している。 △:目標を達成していない。)	◎	◎	◎
実績との比較を踏まえた中期経営計画全般の達成状況について (評価→◎:計画どおりである。○:概ね計画どおりである。△:計画と乖離が生じている。)	◎	◎	

(2) 提言への対応状況

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
青森県公社等点検評価委員会の提言への対応状況について (評価→◎:十分に対応している。○:十分に対応している項目が多い。△:十分に対応していない項目が多い。)	◎	◎	◎

(3) 事業内容等

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
経営環境の変化に対応するため、事業内容の見直しを行っており、実施している事業の内容(事業実施手法を含む。)や規模は、費用対効果、社会的要請からみて適切である。 (評価→◎:適切である。○:概ね適切である△:改善する余地が多い。)	◎	◎	◎
平成24年度の主な事業に係る目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成した。○:概ね目標どおり達成した。△:目標を達成していない。(達成していない項目が多い。))	◎	◎	

(4) 組織体制等

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
効率的な業務運営、内部統制の充実を図る観点から、人員体制の見直しを行っているほか、県派遣職員の順次引揚げを行うなど、自立的な業務運営が図られている。 (評価→◎:十分に対応している。○:概ね対応している。△:改善する余地が多い。)	◎	◎	◎
経営状況及び業務量から勘案して、常勤役職員の数は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:過不足を生じている。)	◎	◎	
経営状況及び業務内容を勘案して、常勤役員及びプロパー職員の給与は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:改善の余地が多い。)	◎	◎	

○ 財務

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
収入の確保、経費の削減が図られており、損益の状況は良好である。 (評価→◎:良好である。○:概ね良好である。△:改善を要する。)	◎	◎	◎
資産の償却、各種引当などを適切に行っており、正味財産(資本)は増加傾向である。 (評価→◎:2期連続して増加している。○:前期より増加している。△:前期より減少している。)	◎	◎	
滞留債権(3ヶ月以上延滞している債権)は発生・増加していない。 (評価→◎:発生していない。または、前期より減少している。△:前期より増加している。)	◎	◎	
自立経営に向けて、運営費や人件費に対する補助金、無利子借入金及び施設使用料の免除といった経営支援的な補助金等を受け入れていない。または、経営支援的な補助金等の額は、前期に比べ低下している。 (評価→◎:受け入れていない。または、低下している。△:増加している。)	◎	◎	

公益社団法人青森県観光連盟

○ マネジメント

(1) 経営理念、中期経営計画

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
平成24年度に掲げた経営者の経営目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成している。○:概ね目標どおり達成している。 △:目標を達成していない。)	◎	◎	◎
実績との比較を踏まえた中期経営計画全般の達成状況について (評価→◎:計画どおりである。○:概ね計画どおりである。△:計画と乖離が生じている。)	◎	◎	

(2) 提言への対応状況

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
青森県公社等点検評価委員会の提言への対応状況について (評価→◎:十分に対応している。○:十分に対応している項目が多い。△:十分に対応していない項目が多い。)	◎	◎	○

(3) 事業内容等

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
経営環境の変化に対応するため、事業内容の見直しを行っており、実施している事業の内容(事業実施手法を含む。)や規模は、費用対効果、社会的要請からみて適切である。 (評価→◎:適切である。○:概ね適切である△:改善する余地が多い。)	◎	◎	○
平成24年度の主な事業に係る目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成した。○:概ね目標どおり達成した。△:目標を達成していない。(達成していない項目が多い。))	◎	◎	

(4) 組織体制等

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
効率的な業務運営、内部統制の充実を図る観点から、人員体制の見直しを行っているほか、県派遣職員の順次引揚げを行うなど、自立的な業務運営が図られている。 (評価→◎:十分に対応している。○:概ね対応している。△:改善する余地が多い。)	◎	◎	◎
経営状況及び業務量から勘案して、常勤役職員の数は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:過不足を生じている。)	◎	◎	
経営状況及び業務内容を勘案して、常勤役員及びプロパー職員の給与は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:改善の余地が多い。)	◎	◎	

○ 財務

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
収入の確保、経費の削減が図られており、損益の状況は良好である。 (評価→◎:良好である。○:概ね良好である。△:改善を要する。)	◎	◎	○
資産の償却、各種引当などを適切に行っており、正味財産(資本)は増加傾向である。 (評価→◎:2期連続して増加している。○:前期より増加している。△:前期より減少している。)	△	△	
滞留債権(3ヶ月以上延滞している債権)は発生・増加していない。 (評価→◎:発生していない。または、前期より減少している。△:前期より増加している。)	◎	◎	
自立経営に向けて、運営費や人件費に対する補助金、無利子借入金及び施設使用料の免除といった経営支援的な補助金等を受け入れていない。または、経営支援的な補助金等の額は、前期に比べ低下している。 (評価→◎:受け入れていない。または、低下している。△:増加している。)	◎	◎	

公益財団法人むつ小川原地域・産業振興財団

○ マネジメント

(1) 経営理念、中期経営計画

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
平成24年度に掲げた経営者の経営目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成している。○:概ね目標どおり達成している。 △:目標を達成していない。)	◎	◎	◎
実績との比較を踏まえた中期経営計画全般の達成状況について (評価→◎:計画どおりである。○:概ね計画どおりである。△:計画と乖離が生じている。)	◎	◎	

(2) 提言への対応状況

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
青森県公社等点検評価委員会の提言への対応状況について (評価→◎:十分に対応している。○:十分に対応している項目が多い。△:十分に対応していない項目が多い。)	◎	◎	◎

(3) 事業内容等

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
経営環境の変化に対応するため、事業内容の見直しを行っており、実施している事業の内容(事業実施手法を含む。)や規模は、費用対効果、社会的要請からみて適切である。 (評価→◎:適切である。○:概ね適切である△:改善する余地が多い。)	◎	◎	◎
平成24年度の主な事業に係る目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成した。○:概ね目標どおり達成した。△:目標を達成していない。(達成していない項目が多い。))	◎	◎	

(4) 組織体制等

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
効率的な業務運営、内部統制の充実を図る観点から、人員体制の見直しを行っているほか、県派遣職員の順次引揚げを行うなど、自立的な業務運営が図られている。 (評価→◎:十分に対応している。○:概ね対応している。△:改善する余地が多い。)	○	○	○
経営状況及び業務量から勘案して、常勤役職員の数は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:過不足を生じている。)	◎	◎	
経営状況及び業務内容を勘案して、常勤役員及びプロパー職員の給与は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:改善の余地が多い。)	◎	◎	

○ 財務

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
収入の確保、経費の削減が図られており、損益の状況は良好である。 (評価→◎:良好である。○:概ね良好である。△:改善を要する。)	◎	◎	◎
資産の償却、各種引当などを適切に行っており、正味財産(資本)は増加傾向である。 (評価→◎:2期連続して増加している。○:前期より増加している。△:前期より減少している。)	◎	◎	
滞留債権(3ヶ月以上延滞している債権)は発生・増加していない。 (評価→◎:発生していない。または、前期より減少している。△:前期より増加している。)	—	—	
自立経営に向けて、運営費や人件費に対する補助金、無利子借入金及び施設使用料の免除といった経営支援的な補助金等を受け入れていない。または、経営支援的な補助金等の額は、前期に比べ低下している。 (評価→◎:受け入れていない。または、低下している。△:増加している。)	◎	◎	

一般社団法人青森県畜産協会

○ マネジメント

(1) 経営理念、中期経営計画

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
平成24年度に掲げた経営者の経営目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成している。○:概ね目標どおり達成している。 △:目標を達成していない。)	○	○	○
実績との比較を踏まえた中期経営計画全般の達成状況について (評価→◎:計画どおりである。○:概ね計画どおりである。△:計画と乖離が生じている。)	○	○	

(2) 提言への対応状況

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
青森県公社等点検評価委員会の提言への対応状況について (評価→◎:十分に対応している。○:十分に対応している項目が多い。△:十分に対応していない項目が多い。)	○	○	○

(3) 事業内容等

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
経営環境の変化に対応するため、事業内容の見直しを行っており、実施している事業の内容(事業実施手法を含む。)や規模は、費用対効果、社会的要請からみて適切である。 (評価→◎:適切である。○:概ね適切である△:改善する余地が多い。)	◎	◎	○
平成24年度の主な事業に係る目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成した。○:概ね目標どおり達成した。△:目標を達成していない。(達成していない項目が多い。))	○	○	

(4) 組織体制等

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
効率的な業務運営、内部統制の充実を図る観点から、人員体制の見直しを行っているほか、県派遣職員の順次引揚げを行うなど、自立的な業務運営が図られている。 (評価→◎:十分に対応している。○:概ね対応している。△:改善する余地が多い。)	○	○	○
経営状況及び業務量から勘案して、常勤役職員の数は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:過不足を生じている。)	○	○	
経営状況及び業務内容を勘案して、常勤役員及びプロパー職員の給与は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:改善の余地が多い。)	○	○	

○ 財務

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
収入の確保、経費の削減が図られており、損益の状況は良好である。 (評価→◎:良好である。○:概ね良好である。△:改善を要する。)	△	△	△
資産の償却、各種引当などを適切に行っており、正味財産(資本)は増加傾向である。 (評価→◎:2期連続して増加している。○:前期より増加している。△:前期より減少している。)	○	○	
滞留債権(3ヶ月以上延滞している債権)は発生・増加していない。 (評価→◎:発生していない。または、前期より減少している。△:前期より増加している。)	◎	◎	
自立経営に向けて、運営費や人件費に対する補助金、無利子借入金及び施設使用料の免除といった経営支援的な補助金等を受け入れていない。または、経営支援的な補助金等の額は、前期に比べ低下している。 (評価→◎:受け入れていない。または、低下している。△:増加している。)	◎	◎	

公益社団法人青森県栽培漁業振興協会

○ マネジメント

(1) 経営理念、中期経営計画

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
平成24年度に掲げた経営者の経営目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成している。○:概ね目標どおり達成している。 △:目標を達成していない。)	◎	◎	◎
実績との比較を踏まえた中期経営計画全般の達成状況について (評価→◎:計画どおりである。○:概ね計画どおりである。△:計画と乖離が生じている。)	◎	◎	

(2) 提言への対応状況

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
青森県公社等点検評価委員会の提言への対応状況について (評価→◎:十分に対応している。○:十分に対応している項目が多い。△:十分に対応していない項目が多い。)	◎	○	○

(3) 事業内容等

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
経営環境の変化に対応するため、事業内容の見直しを行っており、実施している事業の内容(事業実施手法を含む。)や規模は、費用対効果、社会的要請からみて適切である。 (評価→◎:適切である。○:概ね適切である△:改善する余地が多い。)	◎	◎	◎
平成24年度の主な事業に係る目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成した。○:概ね目標どおり達成した。△:目標を達成していない。(達成していない項目が多い。))	◎	◎	

(4) 組織体制等

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
効率的な業務運営、内部統制の充実を図る観点から、人員体制の見直しを行っているほか、県派遣職員の順次引揚げを行うなど、自立的な業務運営が図られている。 (評価→◎:十分に対応している。○:概ね対応している。△:改善する余地が多い。)	◎	◎	○
経営状況及び業務量から勘案して、常勤役職員の数は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:過不足を生じている。)	◎	◎	
経営状況及び業務内容を勘案して、常勤役員及びプロパー職員の給与は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:改善の余地が多い。)	◎	○	

○ 財務

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
収入の確保、経費の削減が図られており、損益の状況は良好である。 (評価→◎:良好である。○:概ね良好である。△:改善を要する。)	◎	◎	○
資産の償却、各種引当などを適切に行っており、正味財産(資本)は増加傾向である。 (評価→◎:2期連続して増加している。○:前期より増加している。△:前期より減少している。)	◎	◎	
滞留債権(3ヶ月以上延滞している債権)は発生・増加していない。 (評価→◎:発生していない。または、前期より減少している。△:前期より増加している。)	◎	◎	
自立経営に向けて、運営費や人件費に対する補助金、無利子借入金及び施設使用料の免除といった経営支援的な補助金等を受け入れていない。または、経営支援的な補助金等の額は、前期に比べ低下している。 (評価→◎:受け入れていない。または、低下している。△:増加している。)	◎	◎	

株式会社建築住宅センター

○ マネジメント

(1) 経営理念、中期経営計画

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
平成24年度に掲げた経営者の経営目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成している。○:概ね目標どおり達成している。 △:目標を達成していない。)	◎	◎	◎
実績との比較を踏まえた中期経営計画全般の達成状況について (評価→◎:計画どおりである。○:概ね計画どおりである。△:計画と乖離が生じている。)	◎	◎	

(2) 提言への対応状況

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
青森県公社等点検評価委員会の提言への対応状況について (評価→◎:十分に対応している。○:十分に対応している項目が多い。△:十分に対応していない項目が多い。)	◎	◎	◎

(3) 事業内容等

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
経営環境の変化に対応するため、事業内容の見直しを行っており、実施している事業の内容(事業実施手法を含む。)や規模は、費用対効果、社会的要請からみて適切である。 (評価→◎:適切である。○:概ね適切である△:改善する余地が多い。)	◎	◎	◎
平成24年度の主な事業に係る目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成した。○:概ね目標どおり達成した。△:目標を達成していない。(達成していない項目が多い。))	◎	◎	

(4) 組織体制等

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
効率的な業務運営、内部統制の充実を図る観点から、人員体制の見直しを行っているほか、県派遣職員の順次引揚げを行うなど、自立的な業務運営が図られている。 (評価→◎:十分に対応している。○:概ね対応している。△:改善する余地が多い。)	◎	◎	◎
経営状況及び業務量から勘案して、常勤役職員の数は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:過不足を生じている。)	◎	◎	
経営状況及び業務内容を勘案して、常勤役員及びプロパー職員の給与は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:改善の余地が多い。)	◎	◎	

○ 財務

評価項目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
収入の確保、経費の削減が図られており、損益の状況は良好である。 (評価→◎:良好である。○:概ね良好である。△:改善を要する。)	◎	◎	◎
資産の償却、各種引当などを適切に行っており、正味財産(資本)は増加傾向である。 (評価→◎:2期連続して増加している。○:前期より増加している。△:前期より減少している。)	◎	◎	
滞留債権(3ヶ月以上延滞している債権)は発生・増加していない。 (評価→◎:発生していない。または、前期より減少している。△:前期より増加している。)	◎	◎	
自立経営に向けて、運営費や人件費に対する補助金、無利子借入金及び施設使用料の免除といった経営支援的な補助金等を受け入れていない。または、経営支援的な補助金等の額は、前期に比べ低下している。 (評価→◎:受け入れていない。または、低下している。△:増加している。)	◎	◎	

むつ小川原石油備蓄株式会社

○ マネジメント

(1) 経営理念、中期経営計画

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
平成24年度に掲げた経営者の経営目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成している。○:概ね目標どおり達成している。 △:目標を達成していない。)	◎	◎	◎
実績との比較を踏まえた中期経営計画全般の達成状況について (評価→◎:計画どおりである。○:概ね計画どおりである。△:計画と乖離が生じている。)	◎	◎	

(2) 提言への対応状況

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
青森県公社等点検評価委員会の提言への対応状況について (評価→◎:十分に対応している。○:十分に対応している項目が多い。△:十分に対応していない項目が多い。)	◎	◎	◎

(3) 事業内容等

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
経営環境の変化に対応するため、事業内容の見直しを行っており、実施している事業の内容(事業実施手法を含む。)や規模は、費用対効果、社会的要請からみて適切である。 (評価→◎:適切である。○:概ね適切である△:改善する余地が多い。)	◎	◎	◎
平成24年度の主な事業に係る目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成した。○:概ね目標どおり達成した。△:目標を達成していない。(達成していない項目が多い。))	◎	◎	

(4) 組織体制等

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
効率的な業務運営、内部統制の充実を図る観点から、人員体制の見直しを行っているほか、県派遣職員の順次引揚げを行うなど、自立的な業務運営が図られている。 (評価→◎:十分に対応している。○:概ね対応している。△:改善する余地が多い。)	◎	◎	◎
経営状況及び業務量から勘案して、常勤役職員の数は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:過不足を生じている。)	◎	◎	
経営状況及び業務内容を勘案して、常勤役員及びプロパー職員の給与は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:改善の余地が多い。)	◎	◎	

○ 財務

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
収入の確保、経費の削減が図られており、損益の状況は良好である。 (評価→◎:良好である。○:概ね良好である。△:改善を要する。)	◎	◎	◎
資産の償却、各種引当などを適切に行っており、正味財産(資本)は増加傾向である。 (評価→◎:2期連続して増加している。○:前期より増加している。△:前期より減少している。)	◎	◎	
滞留債権(3ヶ月以上延滞している債権)は発生・増加していない。 (評価→◎:発生していない。または、前期より減少している。△:前期より増加している。)	◎	◎	
自立経営に向けて、運営費や人件費に対する補助金、無利子借入金及び施設使用料の免除といった経営支援的な補助金等を受け入れていない。または、経営支援的な補助金等の額は、前期に比べ低下している。 (評価→◎:受け入れていない。または、低下している。△:増加している。)	◎	◎	

公益財団法人青森県暴力追放県民センター

○ マネジメント

(1) 経営理念、中期経営計画

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
平成24年度に掲げた経営者の経営目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成している。○:概ね目標どおり達成している。 △:目標を達成していない。)	○	○	○
実績との比較を踏まえた中期経営計画全般の達成状況について (評価→◎:計画どおりである。○:概ね計画どおりである。△:計画と乖離が生じている。)	○	○	

(2) 提言への対応状況

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
青森県公社等点検評価委員会の提言への対応状況について (評価→◎:十分に対応している。○:十分に対応している項目が多い。△:十分に対応していない項目が多い。)	○	○	○

(3) 事業内容等

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
経営環境の変化に対応するため、事業内容の見直しを行っており、実施している事業の内容(事業実施手法を含む。)や規模は、費用対効果、社会的要請からみて適切である。 (評価→◎:適切である。○:概ね適切である△:改善する余地が多い。)	◎	◎	◎
平成24年度の主な事業に係る目標の達成状況について (評価→◎:目標どおり(目標以上)に達成した。○:概ね目標どおり達成した。△:目標を達成していない。(達成していない項目が多い。))	◎	◎	

(4) 組織体制等

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
効率的な業務運営、内部統制の充実を図る観点から、人員体制の見直しを行っているほか、県派遣職員の順次引揚げを行うなど、自立的な業務運営が図られている。 (評価→◎:十分に対応している。○:概ね対応している。△:改善する余地が多い。)	○	○	○
経営状況及び業務量から勘案して、常勤役職員の数は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:過不足を生じている。)	◎	◎	
経営状況及び業務内容を勘案して、常勤役員及びプロパー職員の給与は、妥当である。 (評価→◎:妥当である。○:概ね妥当である。△:改善の余地が多い。)	◎	◎	

○ 財務

評 価 項 目	公社等評価	所管課評価	委員会評価
収入の確保、経費の削減が図られており、損益の状況は良好である。 (評価→◎:良好である。○:概ね良好である。△:改善を要する。)	○	○	○
資産の償却、各種引当などを適切に行っており、正味財産(資本)は増加傾向である。 (評価→◎:2期連続して増加している。○:前期より増加している。△:前期より減少している。)	○	○	
滞留債権(3ヶ月以上延滞している債権)は発生・増加していない。 (評価→◎:発生していない。または、前期より減少している。△:前期より増加している。)	—	—	
自立経営に向けて、運営費や人件費に対する補助金、無利子借入金及び施設使用料の免除といった経営支援的な補助金等を受け入れていない。または、経営支援的な補助金等の額は、前期に比べ低下している。 (評価→◎:受け入れていない。または、低下している。△:増加している。)	◎	◎	